

資料5 全国の都道府県立高等学校の規模

1 全国の都道府県立高等学校の規模

- 都道府県立高等学校の望ましい規模については、1 学年 4～8 学級とする都道府県が少なくない中、平成 23 年度における募集学級 1 学級～3 学級のいわゆる小規模校が占める割合は、19.4%となっている。これは、平成 13 年度の 16.4%に比べ増加しており、小規模化に歯止めがかかっていない状況である。

都道府県立高等学校の望ましい規模(平成22年度)

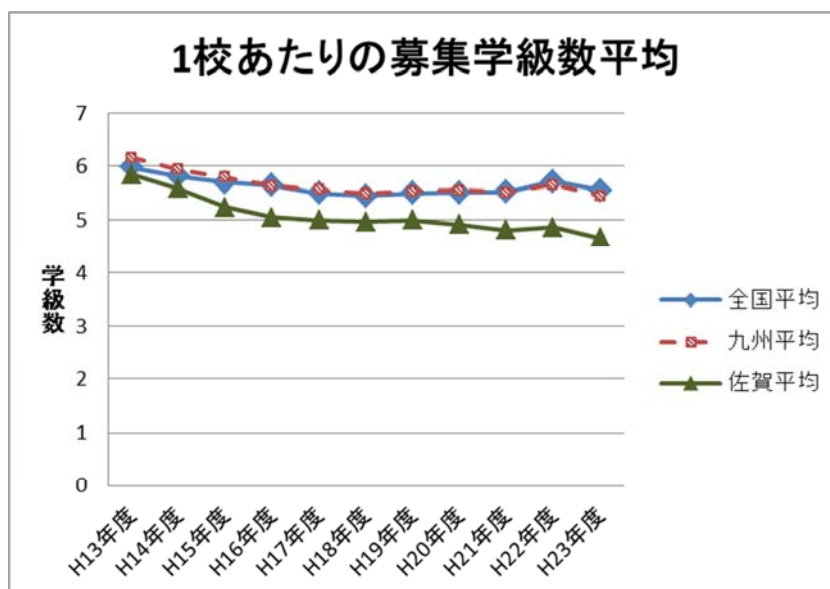
	2学級～8学級	3学級～8学級	4学級～8学級	5学級～6学級	5学級～8学級	6学級～8学級	6学級	8学級	なし
都道府県数	1	2	31	1	1	9	1	1	4

学科によって、望ましい規模が異なる都道府県があるため、合計は47になっていない。

- 九州・沖縄の 8 県における 1 学年 3 学級以下の小規模校の割合は、平成 13 年度は 11.7%だったが、平成 23 年度は 21.2%となり、小規模化が進んでいる。
- 佐賀県の場合は、平成 13 年度 10.5%だった小規模校の割合が平成 23 年度は 27.8%となっている。

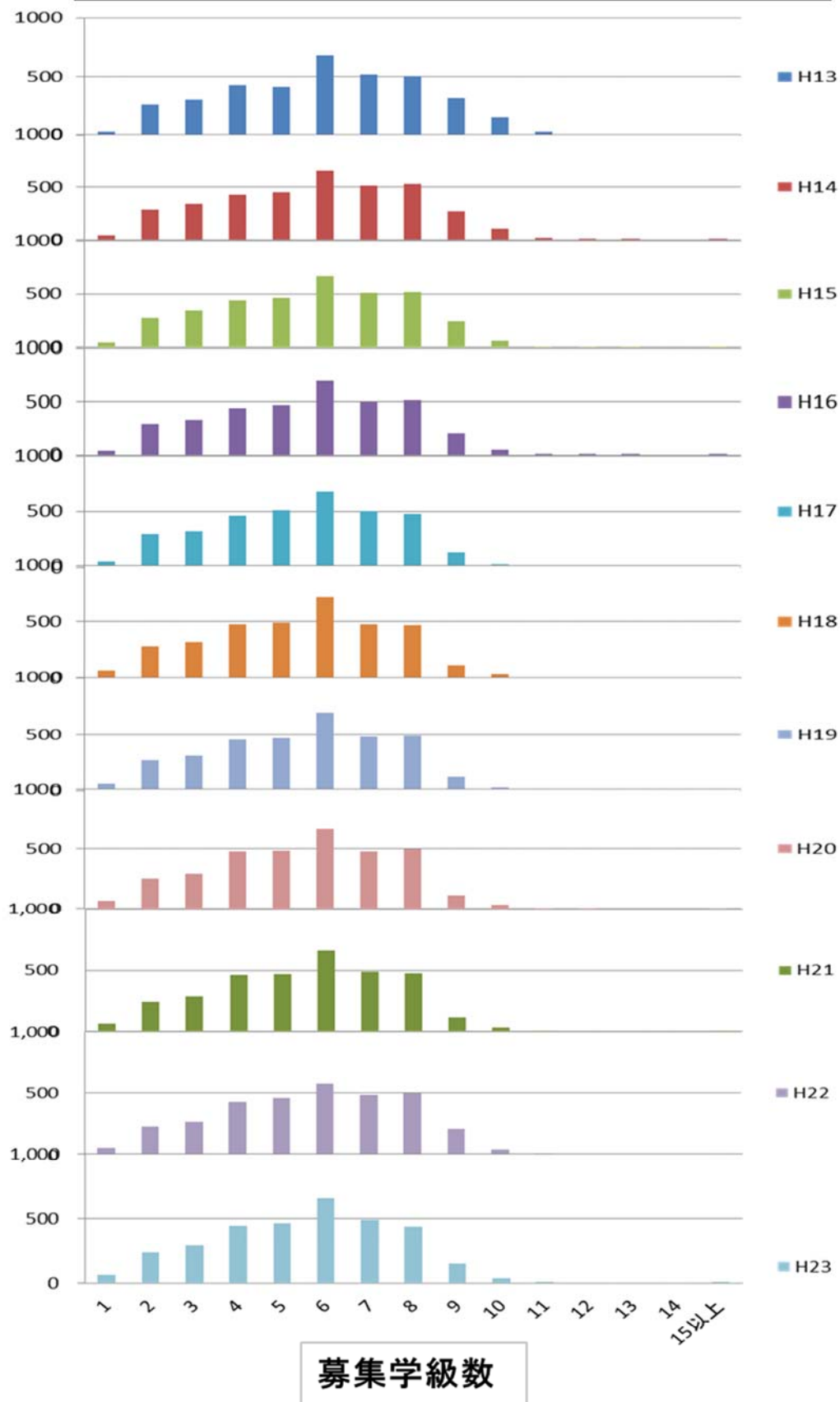
(1校当たりの募集学級数平均)

	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
全国平均	5.98	5.81	5.70	5.65	5.50	5.45	5.50	5.51	5.52	5.72	5.55
九州平均	6.15	5.94	5.79	5.63	5.56	5.49	5.53	5.55	5.51	5.66	5.45
佐賀平均	5.84	5.58	5.24	5.05	5.00	4.97	5.00	4.92	4.81	4.86	4.67

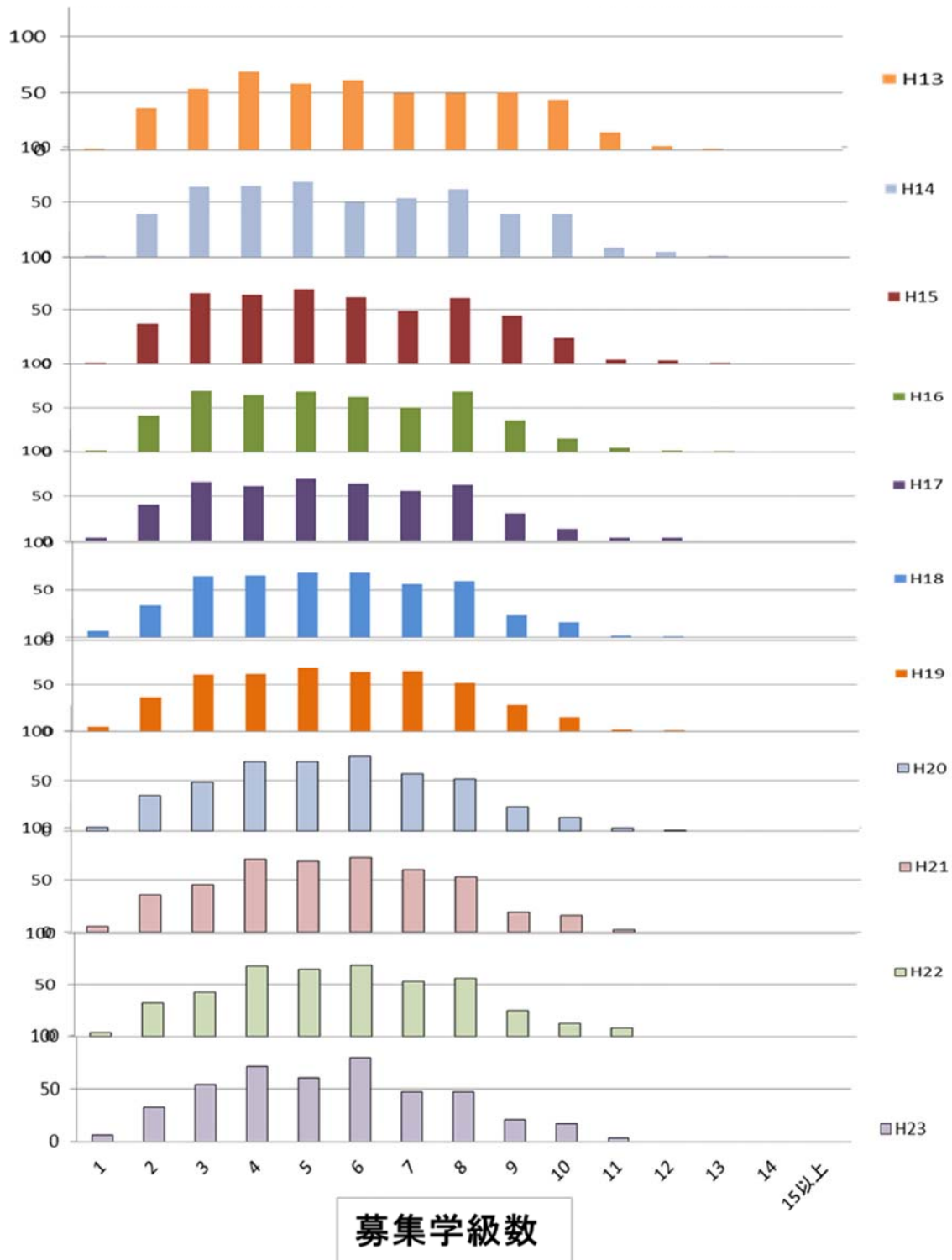


- また、全国の都道府県立高等学校の 1 校当たりの募集学級数の平均は 1 学年 6 学級をやや下回る程度であるが、9 学級以上の大規模校が減少し、6 学級前後の高校が増えている状況にある。
- 九州・沖縄で見ると、以前から離島や山間部には 3 学級以下の小規模校があったが、近年では地域の中卒者数の減少や学区の見直しにより、定員割を繰り返して学級減となり小規模化していく学校もある。その一方で、大規模校が減少し、4～6 学級の高校が増加している。
- 本県では、学級減による小規模化が進み、平成 23 年度の募集定員で見ると、2 学級 1 校、3 学級が 9 校、4 学級が 9 校、5 学級が 5 校、6 学級が 8 校、7 学級以上の学校は 4 校となっている。

全国の募集学級数別学校数の推移 (H13年度～H23年度)



九州・沖縄地区の募集学級数別学校数の推移（H13年度～H23年度）



佐賀県の募集学級数別学校数の推移（H13年度～H23年度）

